

# 第18回 NON 魔法の壺・それからおじさんセット(アマチュアディラー)の巻



以前友人Eに「壺」を買ってきてもらっていたのを思い出したので、今回はこれを紹介します。念の為断っておくと、この「壺」は、マの方が愛用なさっている「いいもの」とは別物であり、ハクション大魔王や娘のアクビが入っている(というか普段暮らしている)壺のことです。それにしても「ハクション大魔王」の新作アニメ(主役はアクビらしい)がテレビで放送されようとは、いったい今は昭和何年でしょう(錯乱)。魔王(劇中ではこう呼称されることがほとんど、ちなみに「大魔王」を名乗っているものの、ドジで数字に弱く涙もらい、劇中描写が揚げバーグというかメンチカツに近いハンバーグが大好物の大柄なオジサン)は壺の周辺でクシャミをすることで、アクビ娘(EDではこのように呼称されています)は壺の周辺でアクビをすることで壺から召喚され、(壺の持ち主であるカンちゃんとは限らない)呼び出した者の為に働くけれど、召喚者が再びクシャミないしアクビをすると即座に壺に戻ってしまう、という仕組みになっています。最終回では魔王たちが壺から数百年も出てこれない状態になってしまい、魔王たちが戻った壺がカンちゃんの手を離れて飛び去って行くという終わり方でした(泣けます)。なお、それからおじさんは番組中盤から登場したキャラクターで、本編にはほとんど絡まず場面転換時にアイキャッチ的に登場していたように記憶しています。

キットデータ	
メーカー	アマチュア
スケール	NON
材質	レジンキャスト
当時価格	1000円 (税込)

キットは2010年のワンダーフェスティバルで頒布されていたものです。レジンキャスト製で、壺の方は一発抜き(全高約5cm)、それからおじさんの方は3パーツ構成(頭頂高約5cm)となっています。アマチュア製キットとはいえ、部品の形状や注型の状態はかなりキチンとしており、以前紹介した「はに丸」とは隔世の感があります。何せ、はに丸から20年以上経過している訳ですから、素材も技術も進歩していて当然でしょう。残念ながら塗装図は付属しませんが、まあガレージキットとはそういうものです。色を確認しようと画像検索してみたところ、アニメ化の影響か壺が何種類も商品化されていることが判明しました(左参照)。ただ困ったことに、細部の色が画像によってまちまちです。仕方ない、実物を知っている魔王を呼び出すか。コショウ、コショウ(本末転倒)。